

道徳学習資料 平成27年3月編

道徳科に向けて ひと段落 道徳の教科書 私のおすすめ教材（配列は新要領に沿う）

2月4日に示された学習指導要領改定案に対するパブリックコメントが3月5日に締め切られました。全国から寄せられた意見をもとに修正が加えられ、今月中に新しい学習指導要領が公示されます。その後の流れは、以下の通りです。

平成27年3月	学習指導要領の公示 教科書調査官の任命
平成27年度	教科書作成（教科書会社）
平成28年度	小学校教科書の検定
平成29年度	小学校の教科書採択 中学校教科書の検定
平成30年度	小学校で本格実施 中学校の教科書採択

学習指導要領が公示されると、いよいよ学習指導要領に沿って教科書作りが始まります。今、教科書会社では、このビジネスチャンスを我がものにしようと、独自のアイデアで編集し、他社との違いを明確にすることで多くの市町から購入されるように作戦を練っています。例えば、新たな学習指導要領では、「いじめを予防するための指導をすること」が明示されました。ある会社の本を見ると、本文の内容で直接的にいじめを取り上げた資料と、本文では直接的にいじめを取り上げていないまでも、「より良い学級づくり」などを通して間接的にいじめ防止をする資料を組み合わせ、複数の資料を一つのユニット単位として組み合わせ、複数の資料でいじめ予防のための指導ができるように編集されています。

教科書会社にとって、愛知県は極めて特異な県だと言います。その理由は、極めて熱心に道徳の指導が行われているにもかかわらず、教科書出版会社が作成した副読本を購入する市町が一つもないのだそうです。他県では、市町単位で、道徳の授業で使う副読本として、一般の教科書会社で作った本を購入して利用しているところもあるのだそうです。

岡崎市では、昭和33年に「道徳の時間」が創

設されたときに全国に先駆けて県の校長会が作成し、愛知県教育振興会から出版された『明るい心（人生）』が現在でも副読本として使われています。購入財源が公費か私費かは別にしても、愛知県下全域で『明るい心（人生）』を使っています。教科書出版社が参入できないのだそうです。もちろん、1学級分とか、研究用で学校で数冊購入されている例はあります。しかし、基本的には0冊です。その県に参入できるわけです。児童数が減って他の教科書書類の販売数が減っているときに新たな教科書ができるわけですから、教科書会社にとってはまさにビッグチャンスです。ちなみに、副教材から教科書になれば、現在、「資料」と呼ばれているものが、「教材」と呼ばれるようになります。

ところで、現在、道徳の授業で使うための副読本を販売している教科書会社がどのぐらいあるかご存知ですか。自分がかかっているだけでも、次の会社が発刊し、販売しています。

学研	『みんなの道徳』
学校図書	『かがやけみらい』
教育出版	『心つないで』
光文書院	『ゆたかな心』
東京書籍	『道徳』
日本標準	『みんなで考える道徳』
日本文教出版	『あすをみつめて』
日本文教出版	『生きる力』
光村図書	『きみがいちばんひかるとき』

先日、ある調査のために上の会社の本にざっと目を通す機会がありました。すると、読んだだけで心が打たれ涙が出てくる良い資料やぜひとも授業で使ってみたい資料がたくさん載せられている副読本と、そうではないものがありました。どうせなら、子供たちにぜひとも読ませたい教材がたくさん載っている本を選びたいものです。今回は、自分の独善で上の教科書候補となる本に載っていた自分が使ってみたい教材を紹介します。

< 1・2年生 >

- A [正直・誠実] きんいろのクレヨン、きんのおのぎんのおの、おおかみとしょうねん、ねこがわらった、みかんの木の寺
[節度・節制] かぼちゃのつる、るっぺどうしたの
[努力・強い意志] ありときりぎりす
- B [親切・思いやり] はしのうえのおおかみ、ぐみの木とことり、しっぽのないさる
[感謝] きつねとぶどう
[礼儀] たけしのでんわ
[友情・信頼] 二わのことり、くりのみ、ゆっきとやっち
- C [規則の尊重] きいろいベンチ
[家族愛] ぼくのおとうと、きつねとぶどう
- D [生命の尊さ] ハムスターのあかちゃん、あかちゃんがうまれるよ、がんばれアヌーラ
[自然愛護] 虫がだいすき アンリファール
[感動、畏敬の念] 七つぼし、かさじぞう、しあわせの王子

< 3・4年生 >

- A [善悪の判断・自由と責任] よわむし太郎、どんど橋のできごと
[正直・誠実] まどガラスと魚、チューインガム一つ、なしの実
[節度・節制] 金色の魚、ロバを売りに行く親子、目覚まし時計
[努力・強い意志] ゆめをおって 本田宗一郎、医学の道 野口英世、いつかにじをかける
- B [親切・思いやり] 拾ったりんご、ぐみの木と小鳥、フィンガーボール
[感謝] あの日のこと、あと30分おくれたら、きつねとぶどう、だがし屋のおばあちゃん
[礼儀] 生きた礼儀、電話の向こうはどんな顔
[友情・信頼] 絵はがきと切手、ないた赤鬼、とべないホテル
- C [規則の尊重] あめ玉、もどらない本、黄色いカサ、雨のバスでいりゅじよで
[勤労・公共の精神] ロボくんと小鳥、
[家族愛] ブラッドレーのせいきゅう書、小さ

なお父さん、きつねのよめいり

- [国や郷土を愛する態度] ふろしき
- D [生命の尊さ] いのちのまつり、電池が切れるまで
[自然愛護] ヒキガエルとロバ
[畏敬の念] 花さき山、幸福の王子、光の星、十歳のプレゼント

< 5・6年生 >

- A [善悪の判断、自由と責任] うばわれた自由、星野君の二塁打、頂上はすぐそこに
[正直・誠実] 手品師、
[節度、節制] くもの糸
[個性の伸張] 葉っぱのフレディー、五十歳からの再出発 伊能忠敬
[努力気、強い意志] 富士観測所をつくるために、ヘレンと共に、鑑真和上、
[真理の探究] 木のいのち、マリーキュリー
- B [親切、思いやり] 崩れ落ちたダンボール
[友情、信頼] 友の肖像画、走れメロス
[相互理解、寛容] ブランコ乗りとピエロ、銀のしょく台
- C [規則の尊重] 大王と風車小屋の主人
[公正、公平] シミズ先生とキヨ
[勤労、公共の精神] マザーテレサ、ぼくの仕事は便所そうじ
[家族愛] おばあちゃんのさがしもの
[よりよい集団生活] 星野君の二塁打
[国や郷土を愛する態度] 米百俵
[国際理解] 科学は平和のためにある、杉原千畝、太平洋の架け橋に 新渡戸稲造
- D [生命の尊さ] ヒキガエルとロバ、あの子があぶない、命の重さはみな同じ、最後の一葉、稲むらの火で命を救え
[自然愛護] 一ふみ十年、よみがえれ、海よえりも岬に木を植えた猟師たち
[畏敬の念] 青の洞門
- 保守的なのでしょうか。気づかないうちに昔から使われてきた教材をたくさん選んでいました。でも、親子孫三代が共通の教材で価値観について話し合うことができれば素敵だと思いませんか。